

新入生アンケートの結果に見られる 平成17年度入学生の特徴

逆瀬川 栄一^{*1} 松尾 葉子^{*2} 佐々木 伸子^{*3}
原田 徳彦^{*4} 国重 徹^{*5}

The Characteristics of the Freshmen in 2005 ---An Analysis Based on the Results of a Questionnaire to the Freshmen---

Eiichi SAKASEGAWA, Yoko MATSUO, Shinko SASAKI,
Norihiko HARADA and Toru KUNISHIGE

Abstract

Six years have passed since the school counselors' office was established at Tokuyama College of Technology in 1999. The office has been supporting the students proactively rather than reactively for four years, putting an emphasis on community work. Four years ago, the office started to use a questionnaire to the freshmen inquiring about their worries, motivation to study and so on as a means of the proactive support. The office used the same questionnaire in April this year for the fifth time so as to help the freshmen to adapt themselves to the new environment.

This report comparatively analyzes the results of the questionnaire given to the freshmen from 2001 to 2005 and points out some of their characteristics that should be noted, focusing on three different departments they are in and gender.

Key Words : proactive support, reactive support, adapt, new environment, questionnaire

1. はじめに

徳山高専学生相談室では、平成13年度から「学生相談室プログラム」^{*}の一環として新入生アンケートを実施している。この新入生アンケートの目的は、中学という義務教育機関を卒業し、高等専門学校という高等教育機関に入学したばかりの学生が、これまでと全く異なる新しい環境にできるだけうまく適応できるように援助することである。平成13年、14年、15年、16年に引き続き、平成17年4月には平成17年度新入生に対

して、同じアンケートを実施した。アンケートに基づき、入学当初より悩みを抱えている学生及び入寮した新入生全員に対して個別面談を実施した。

本稿は、平成13年4月から5年連続で新入生に対して実施した新入生アンケートの結果を比較分析し、平成17年度新入生の特徴を明らかにするとともに、5年間蓄積したデータから読み取れる、本校に入学した学生の注意すべき傾向を、学科や性別に焦点を当てて考察するものである。

^{*1} 機械電気工学科

^{*2} 学生課学生係

^{*3} 土木建築工学科

^{*4} 情報電子工学科

^{*5} 一般科目（英語）

※学生相談室プログラムについては、国重、佐々木²⁾や佐々木、国重³⁾に詳しく論じられている

2. 新入生アンケート

新入生アンケートは、鳴澤 (1998)¹⁾ の東京都立大学新入生対象アンケートを徳山高専用に修正し作成したものである。

アンケートは平成17年4月5日の学生相談室オリエンテーションで実施した。実施方法は、学生相談室スタッフがアンケートを配布し説明を行ったあと学生に記入させ、その場で回収した。

アンケートは記名式で、全員に23の項目、寮生には6項目を追加して尋ねた。

対象は、平成17年度一年生127人(男子103人,女子24人;自宅通学生104人,寮生23人;機械電気工学科生(ME)40人,情報電子工学科生(IE)44人,土木建築工学科生(CA)43人)で、当日の欠席者1名を除く126人から回収できた。

以下に、アンケートの質問項目と回答を示す。回答はパーセンテージで()内に示してある。

〈2・1〉 新入生全員に対する質問

1. あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか。
自宅通学生(81.7)
寮生(18.3)
2. あなたは中学校時代にクラブ活動に参加していましたか。
はい(97.6)
いいえ(1.6)
無回答(0.8)
3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。
中学3年生の頃(59.7)
中学2年生の頃(28.2)
中学1年生の頃(9.7)
小学生の頃(2.4)
4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。
はい(91.3)
いいえ(8.7)
5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。
はい(99.2)
いいえ(0.8)
6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。
いいところに就職できる(67.5)

- 自分の志望に合っている(55.6)
- 自由な校風だから(37.3)
- 先生や親にすすめられた(27.8)
- 経済的な理由(11.9)
- 先輩・知人がいる(7.9)
- 何となく(6.3)
- 兄弟がいる(4.8)
- 入学しやすい(3.2)
- 他に入学するところがなかったから(3.2)
- 通学の便がいい(2.4)

7. あなたは中学校時代に満足のいく学校生活が送れたと思いますか。
一応満足している(45.2)
とても満足している(41.3)
あまり満足していない(10.3)
全く満足していない(3.2)
8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。
とても満足している(50.0)
一応満足している(43.7)
あまり満足していない(6.3)
全く満足していない(0)
9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。
専門的な技術を身につけるため(84.1)
いいところに就職するため(56.3)
学生生活をエンジョイするため(27.0)
教養を高め人間的に成長するため(22.2)
専攻科や他の大学に進学するため(17.5)
先生や友人と交流するため(7.1)
何となく(4.0)
10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。
一応意欲がある(54.8)
十分意欲がある(18.3)
あまりない(25.4)
全くない(1.6)
11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。
少し不安である(53.2)
とても不安である(37.3)
あまり不安ではない(7.9)
全く不安ではない(1.6)
12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。
少しそう思う(49.2)
強くそう思う(35.7)

- あまりそうは思わない(11.1)
 全くそうは思わない(4.0)
13. 自分には徳山高専で友人ができないのではないかと心配ですか。
 少し心配である(39.7)
 あまり心配ではない(36.5)
 全く心配ではない(15.1)
 とても心配である(8.7)
14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。
 少し楽しみである(46.8)
 とても楽しみである(44.4)
 あまり楽しみではない(7.1)
 全く楽しみではない(1.6)
15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。
 いいえ(55.6)
 はい(44.4)
16. あなたは中学時代に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいましたか。
 はい(78.6)
 いいえ(21.4)
17. あなたは徳山高専に知り合いの人がいますか。
 はい(80.0)
 いいえ(20.0)
18. あなたは徳山高専に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいますか。
 いいえ(67.5)
 はい(32.5)
19. あなたはある程度親しくつき合っている異性の友人がいますか。
 いいえ(61.9)
 はい(38.1)
20. 今までに、反抗して親を手こずらせたことがありますか。
 はい(60.0)
 いいえ(40.0)
21. 今までに、失敗や挫折をしてすごく悩んだことがありますか。
 はい(56.8)
 いいえ(43.2)
22. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のような内容について相談してみたいですか。
 勉強(63.5)
 就職(35.7)

進学(27.0)

友人関係(23.0)

徳山高専が自分に合っているか(20.6)

知らなかった人たちとの出会い(15.1)

自分の性格(14.3)

恋愛(8.7)

心の健康(5.6)

体の健康(3.2)

家庭(2.4)

性(0.8)

答えの多かった上位4つに対する年度別の変化を図1に示す。

23. 前門の項目の中で今すぐ相談したいことがあれば記入してください。(回答省略)

<2> 寮生のみに対する質問

24. 寮生活全般に関して不安を感じていますか。

少し不安である(43.5)

とても不安である(39.1)

全く不安ではない(8.7)

あまり不安ではない(8.7)

25. 家族から離れて一人で生活するので寂しく思いますか。

全く寂しくない(43.5)

少し寂しい(26.1)

あまり寂しくない(26.1)

とても寂しい(4.3)

26. 寮を出て自宅から通学したいですか。

あまり自宅通学したくない(52.2)

少し自宅通学したい(26.1)

全く自宅通学したくない(17.4)

是非自宅通学したい(4.3)

27. 現在、あなたは寮生活に関して学生相談室で相談をしてみたいような事柄や悩みがありますか。

いいえ(82.6)

はい(17.4)

28. 27.で、「はい」と答えられた方へ、それはどのような事柄や悩みですか。複数回答可。

先輩との関係について(8.7)

その他(4.3)

一人暮らしについて(0)

寮の施設・設備について(0)

3. アンケート結果に見られる主な特徴

- <3・1> 学科別の新入生の特徴 平成17年度新入生の学科別の特徴を調べるため、アンケート結果を学科別

に比較した。図2から図22は、学科ごとの特徴をグラフ化したものである。また、平成13年度から17年度までの変化を示している。以下、グラフからわかる学科別の特徴を述べる。番号は2章と同じ質問番号を示す。

3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。

「中学2年」の割合がどの学科も昨年よりは増えており、とくにMEが大きく増加している(図2)。
4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。

MEは第一志望としている学生が多い(図3)。
5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。

MEとIEは全員が本当に入りたかった学科に入っている。IEは4年連続で全員が本当に入りたかった学科に入っている(図4)。
6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか。

「いいところに就職できる」は、MEとIEで昨年度より減少している。CAはほぼ横ばいである(図5)。

「経済的な理由」の割合は、MEが10.0%、IEが18.2%、CAが7.1%である。IEが44人中8人とやや多い(図6)。

「先生や親にすすめられた」はMEは少ないがIE、CAは多い(図7)。

「自由な校風だから」は全体で3割の学生が肯定しており、本校を選択する理由の重要な要素となっている(図8)。

「自分の志望に合っている」はすべての学科で昨年より減少(図9)。

「何となく」と答えた学生の割合が、IEにおいて2005年度は増えているのは注意すべき特徴と思われる(図10)。
8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。

「とても満足している」と答えた学生の割合が、MEはこの2年間、IE、CAについてはこの3年間連続で下がっているのは、要注意である(図11)。
9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか。

「専門的な学問・技術を身につけるため」の割合は、MEが87.5%、IEが86.4%、CAが78.6%で例年とほぼ同じである(図12)。

「教養を高め人間的に成長するため」は、昨年度CAが低かったが、本年度は大きく増加した。また3学科のうちでも最も多い(図13)。

「先生や友人と交流するため」は、3学科ともに昨年度に比べ減少している(図14)。

「いいところに就職するため」は、全ての学科で

減少している(図15)。

「学生生活をエンジョイするため」も全ての学科で減少している。過去4年間はCAが高いが、今年は3学科が並んでいる(図16)。

「専攻科や他の大学に進学するため」は、MEとCAが減少し、IEが増加している(図17)。

「何とはなしに」と答えた学生の割合がCAで増加している(図18)。

明確な目的をもつ学生が減少してきおり、学習意欲の低下にもつながるため要注意である。

10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。

学科間での差はあまりなく、例年に比べて全体的に意識が低い。

「十分意欲がある」と答えた学生の割合が、MEは昨年と比べて激減している。IE、CAについてはこの3年間連続で下がっているのは、要注意である。全く意欲のない学生がMEとIEにいる(図19)。
11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。

CAの約50%が「とても不安」と答えている。CAは他の学科に比べて不安な学生が多い傾向がある(図20)。
14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。

「とても楽しみである」と答えた学生の割合が、ME、IEはこの2年間、CAについてはこの3年間連続で下がっているのは、要注意である。全体的な傾向としてMEに「とても楽しみ」と答える学生が多い(図21)。
15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。

全ての学科で昨年度より減少。IEで昨年度より大きく減少(図22)。

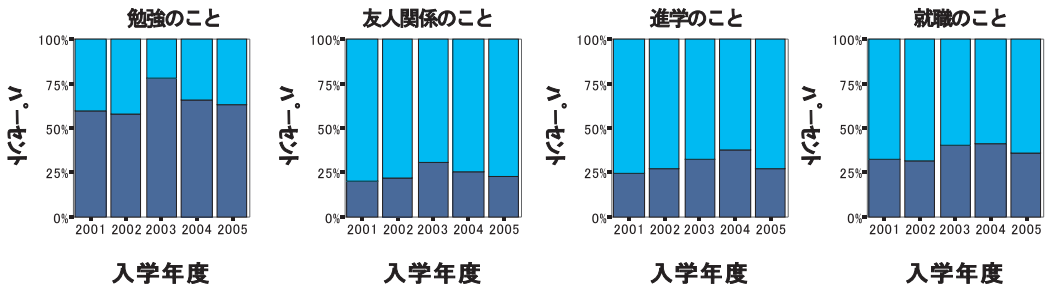
<3・2> 男女別の新入生の特徴 図23から図26は、男女別の特徴をグラフ化したものである。以下にその特徴を述べる。

10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。

男女ともに「十分意欲がある」が減り、「あまり意欲がない」が増加しているので要注意である(図23)。
11. あなたは徳山高専での勉強についていけるか不安ですか。

女子学生の多くは「とても不安である」から「少し不安である」に変わりつつある(図24)。

図1 相談室で相談したい内容の上位4つの年度別変化 ■ 肯定 ■ 否定



学科別に見る新入生の特徴の年度別の変化

図2 あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。

■ 中学3年 ■ 中学2年
■ 中学1年 ■ 小学生

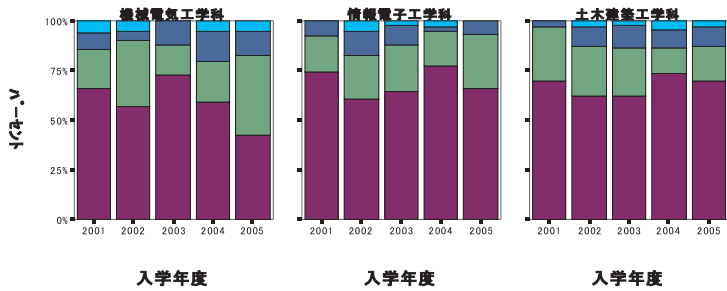


図3 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。

■ はい ■ いいえ

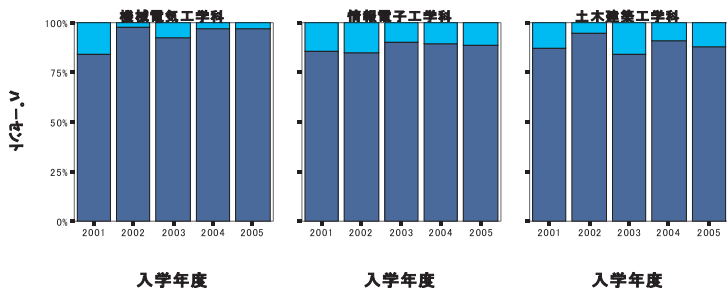


図4 あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。

■ はい ■ いいえ

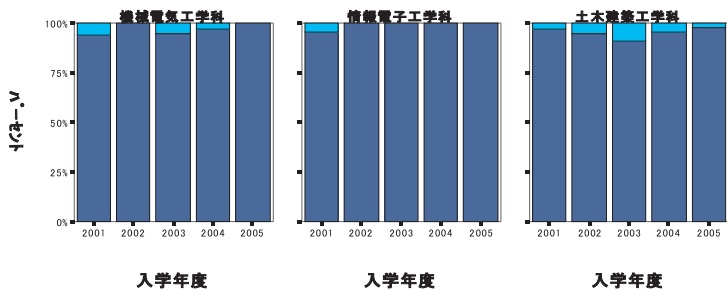


図5 入学の動機
いいところに就職できる

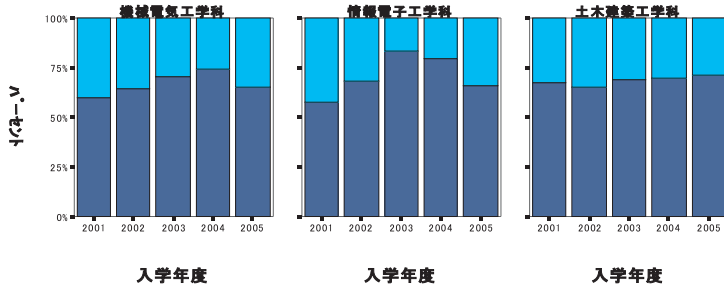


図6 入学の動機
経済的な理由

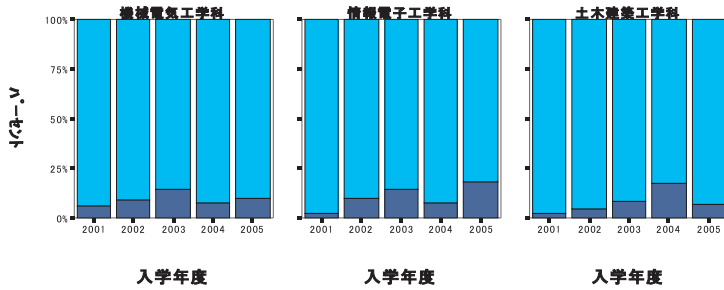


図7 入学の動機
先生や親にすすめられた

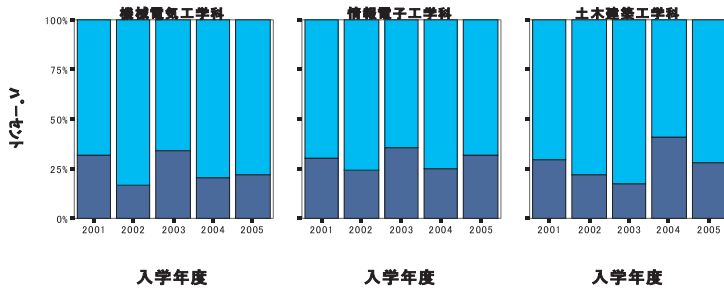


図8 入学の動機
自由な校風だから

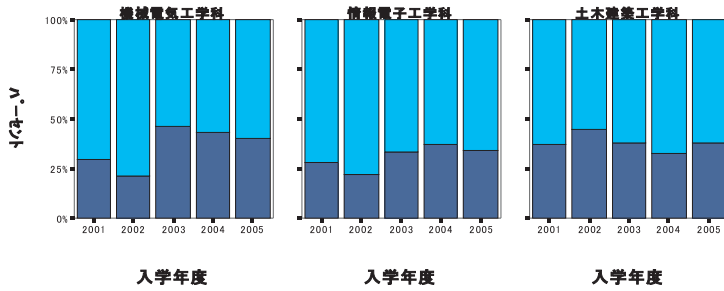


図9 入学の動機
自分の志望に合っている

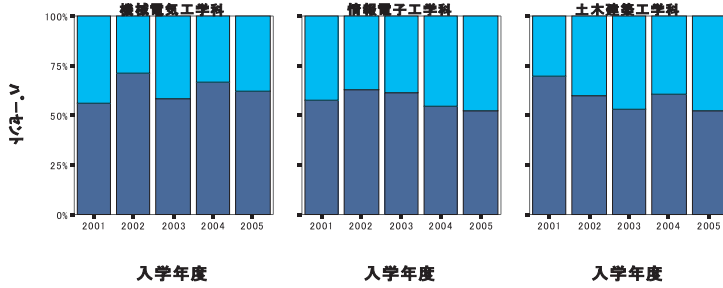


図10 入学の動機
何となく

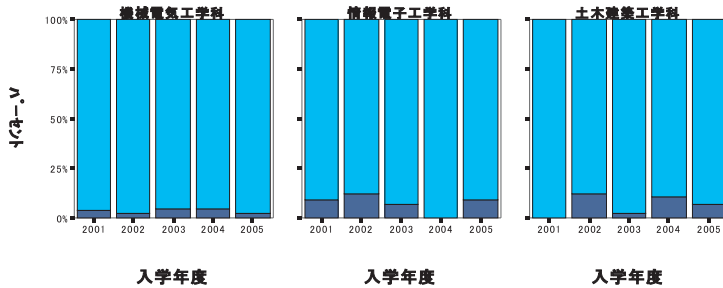


図11 あなたは徳山高専に入学
できて満足していますか。

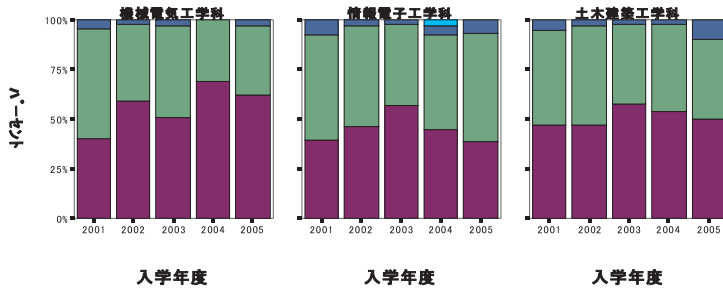


図12 入学の目的
専門的な学問・技術を
身につけるため

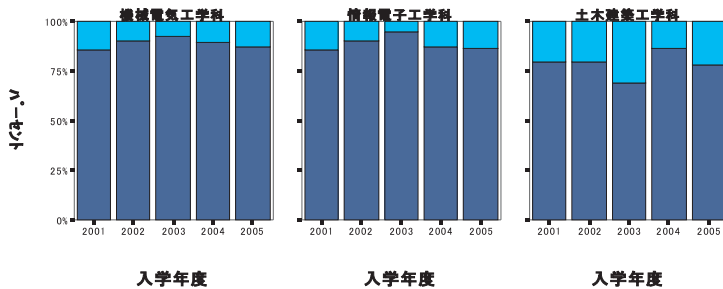


図13 入学の目的
 教養を高め人間的に成長するため
 ■ 肯定 ■ 否定

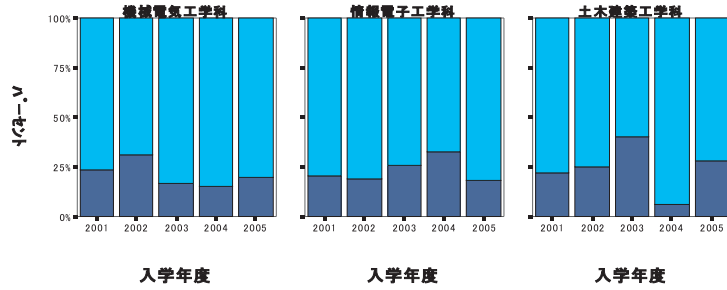


図14 入学の目的
 先生や友人と交流するため
 ■ 肯定 ■ 否定

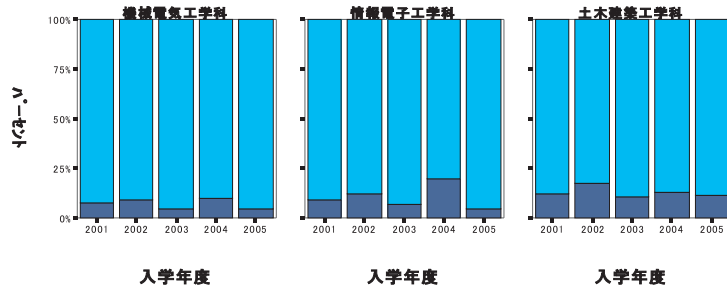


図15 入学の目的
 いいところに就職するため
 ■ 肯定 ■ 否定

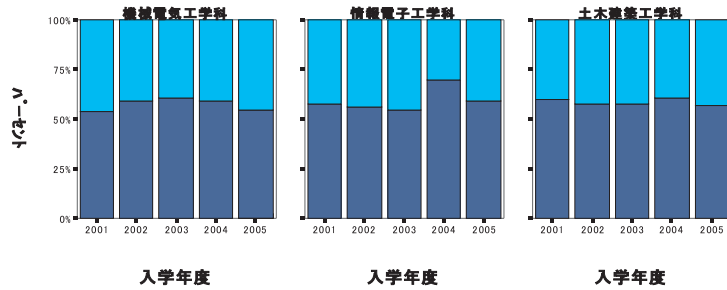


図16 入学の目的
 学生生活をエンジョイするため
 ■ 肯定 ■ 否定

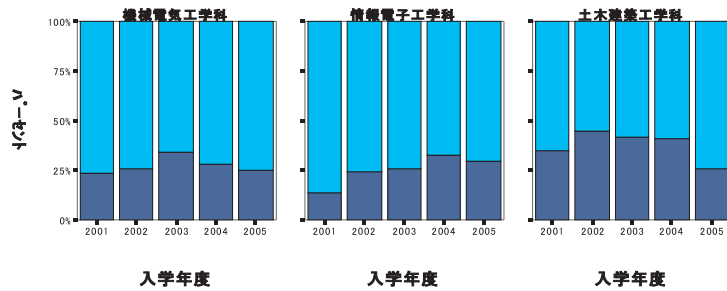


図17 入学の目的
専攻科や他の大学に進学するため
■ 肯定 ■ 否定

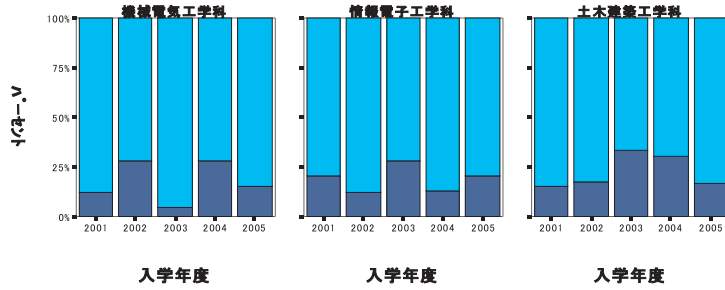


図18 入学の目的
何とはなしに
■ 肯定 ■ 否定

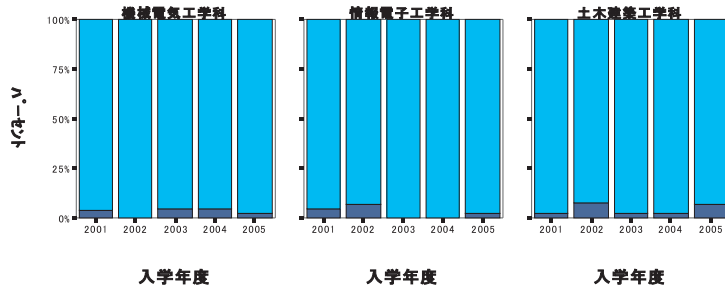


図19 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。
■ 十分意欲がある ■ 一応意欲がある ■ あまりない ■ 全くない

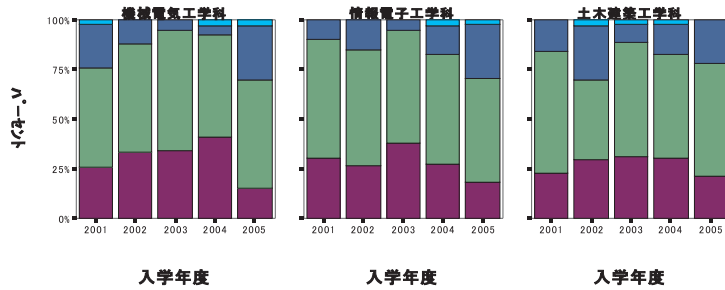


図20 あなたは徳山高専の勉強についていけるかどうか不安ですか。
■ 全く不安ではない ■ あまり不安ではない ■ 少し不安である ■ とても不安である

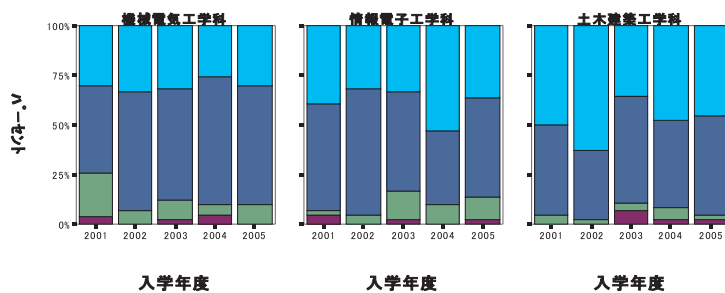


図 21 あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。

- とても楽しみである
- 少し楽しみである
- あまり楽しみではない
- 全く楽しみではない

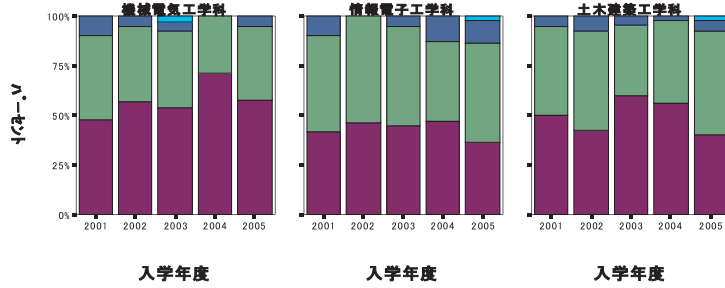
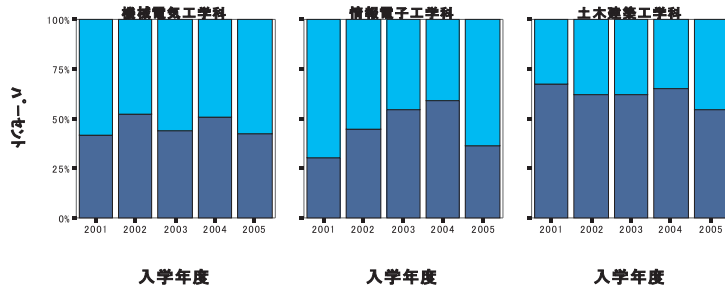


図 22 あなたは自分の将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。

- はい
- いいえ



男女別に見る新入生の特徴の年度別の変化

図 23 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。

- 十分意欲がある
- 一応意欲がある
- あまりない
- 全くない

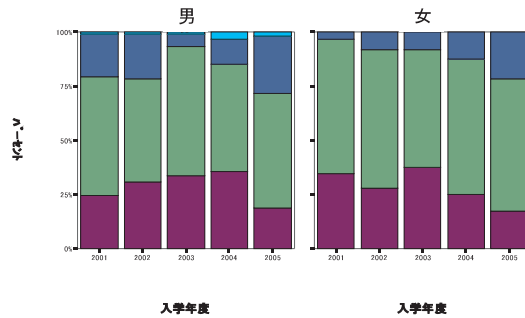
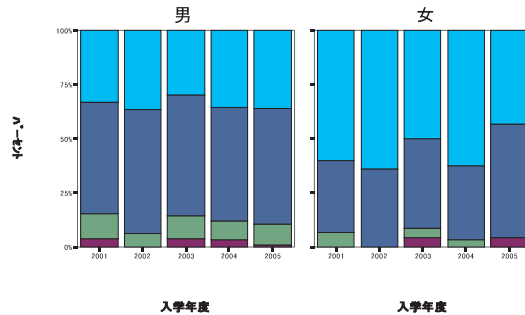
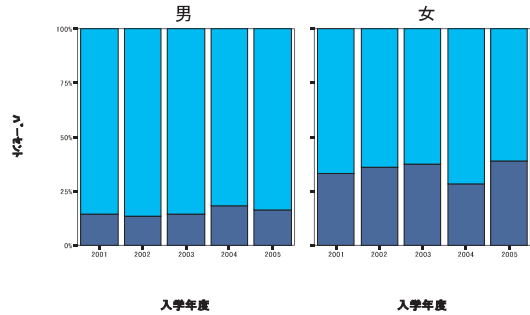
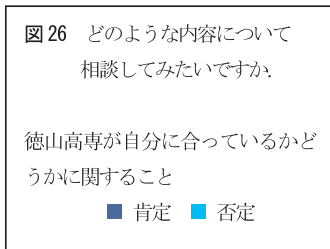
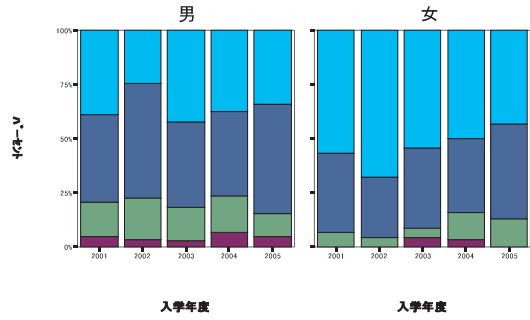
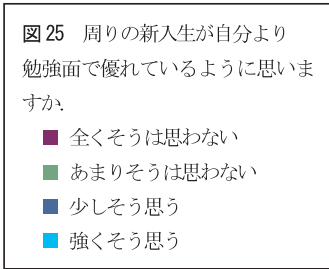


図 24 あなたは徳山高専の勉強についていけるかどうか不安ですか。

- 全く不安ではない
- あまり不安ではない
- 少し不安である
- とても不安である





12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。

女子学生の意識が「強くそう思う」から「少しそう思う」に変化しているのがわかる (図 25)。

22. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のような内容について相談してみたいですか。

女子学生の多くが「徳山高専が自分に合っているかどうかに関すること」を相談してみたいと答えており、新入生に対し早めのサポートが必要である (図 26)。

4. まとめ

ここ数年、入学満足度や学習意欲が非常に高い学生の数が少しずつ減り、学生生活がとても楽しみな学生の割合も少しずつ下がる傾向にあるため、ともすると学生の学校への帰属意識や目的意識が下がり、不適応を起しやすいう傾向が生まれることが懸念される。従って、入学時から効果的な適応援助を協働で行うため、サポートのネットワーク作りが必要となる。これらの分析結果が学生指導の一助になれば幸いである。

文献

- 1) 鳴澤:新入生の実態調査,東京都立大学学生相談室レポート,9,PP.6-42(1980)
- 2) 国重,佐々木:新入生アンケートを活用した入学時適応援助の方策について,論文集「高専教育」,第25号,PP.455-460(2002)
- 3) 佐々木,国重:高専における学生相談の具体的活用策——心理検査を利用したキャリア・ガイダンスの試み——,論文集「高専教育」,第25号,PP.461-466(2002)

(2005.9.5 受理)